



市民公開講座

第57回 日本小児神経学会学術集会

医療的ケアを受けながら 地域で生きる子どもを支えるには

参加費
無料
直接会場まで
お越しください。

日程

2015年 **5月30日**(土) 13:00~16:00【受付 12:30~】

場所

帝国ホテル 大阪 5階「吉野の間」 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-50

■新幹線をご利用の場合

JR在来線経由で大阪駅へ(約5分)。大阪駅からはシャトルバスまたはJR大阪環状線をご利用ください。

■在来線をご利用の場合

地下鉄堺筋線「扇町」駅4番出口より徒歩10分、堺筋線・谷町線「南森町」駅3番出口より徒歩12分、大阪環状線「桜ノ宮駅」西出口より徒歩5分です。



【主催】一般社団法人 日本小児神経学会

【後援】一般社団法人 大阪府医師会、一般社団法人 大阪小児科医会、大阪小児科学会、大阪小児保健研究会

プログラム

座長

船戸 正久(大阪発達総合療育センター)

高田 哲(神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)

Opening Remarks

どうして在宅高度医療児が増加したか?

船戸 正久(大阪発達総合療育センター)

① 地域かかりつけ医の活動と課題

春本 常雄(東大阪生協病院小児科)

② 小児訪問看護の現状と訪問看護の一事例

下釜 聡子(石井記念愛染園訪問看護ステーション)

③ 学校における医療的ケアの現状と今後の課題

丹羽 登(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)

④ 障害者医療にかかわる医療者の育成の課題

三浦 清邦(名古屋大学大学院医学系研究科
障害児(者)医療学寄附講座)

⑤ 親の立場から望むこと

竹本 由子(児童発達支援放課後等ディサービスはつかぜ)

Closing Remarks

会を終えるにあたって

高田 哲(神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)



お問い合わせ先

第57回日本小児神経学会学術集会 運営事務局

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F 株式会社コンベンションリンケージ内

TEL.06-6377-2188 / FAX.06-6377-2075 E-mail:jscr57@c-linkage.co.jp

